

第1章 八代市の概要

1. 位置及び地勢

平成 17 年 8 月、1 市 2 町 3 村の合併により発足した八代市は、熊本市の南 40km、熊本県のほぼ中央に位置する。東西約 50km、南北約 30km、面積約 680k m²の市域を有し、西は八代海に臨み、北は八代郡、宇城市、上益城郡及び下益城郡、東は宮崎県東臼杵郡、南は球磨郡及び葦北郡に接する。

本市は、九州山地北西縁に北東～南西方向に走っている日奈久断層帯により、西の八代平野と東の山地とに区分され、全面積の約 3 割が平野、残りの 7 割が山間地である。

八代平野は、日本三急流の一つである球磨川等から流下した土砂の堆積によりできた扇状地式三角州が基部となり、江戸時代初頭からの相次ぐ干拓事業により、形成された沖積平野である。そのため山裾から海までの平均勾配は 1‰と、非常にゆるやかである。

本市はまた、東方に球磨川を遡れば人吉、宮崎方面へ、南に下ると水俣、鹿児島方面へ向かう分岐点となり、交通の要衝でもある。九州縦貫自動車道は福岡・熊本方向から本市を經由し、宮崎・鹿児島方面へと道を伸ばしており、更に、本市を北の起点として南九州西回り自動車道の整備が進められている。また、平成 16 年 3 月に九州新幹線新八代～鹿児島中央間が一部開業し、平成 23 年 3 月には博多までの全線が開業している。海の玄関口である八代港は国際貿易が活発に行われており、平成 29 年には国際旅客船拠点形成港湾にも指定されている。



位置図

2. 人口及び世帯

年 度	人 口			世 帯 数
	総 数	男	女	
平成 27	127,472	59,221	68,251	47,972
※ 28	129,957	60,438	69,519	55,223

〔備考〕 国勢調査結果による。

ただし、※印は、平成 28 年 9 月 30 日現在の住民基本台帳人口による。

(平成 24 年 7 月 9 日住民基本台帳法の一部改正により外国人を含めた人口)

3. 産業構造

(1) 国勢調査による産業別就業人口

各年 10 月 1 日現在

	総数 (人)			比率 (%)		
	H17 年	H22 年	H27 年	H17 年	H22 年	H27 年
第 1 次産業	9,407	8,247	8,295	14.5	13.9	13.9
第 2 次産業	16,074	13,352	12,878	24.7	22.5	21.6
第 3 次産業	39,158	36,377	37,231	60.2	61.4	62.5
総 数	65,043	59,261	59,562	100.0	100.0	100.0

〔備考〕 1. 国勢調査結果による。

2. 第 1 次産業から第 3 次産業までの合計と総数との差は、分類不能の産業として整理されている。

(2) 工業統計調査結果

各年 12 月 31 日現在

年 度	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成 21	197	6,872	20,545,570 万円
22	192	6,911	21,641,940
24	183	7,098	23,378,784
25	173	7,012	22,928,829
26	167	6,769	24,068,616

(資料：八代市統計年鑑)

〔備考〕 1. 従業者 4 人以上の事業所。

2. 平成 23 年度は、総務省により経済センサスが実施されたため、工業統計調査は実施されていない。

4. 土地利用

(1) 都市計画用途地域

告示日：平成 25 年 8 月 21 日

区 分		面積 (ha)	構成比 (%)	行政面積比 (%)
用 途 地 域	第 1 種低層住居専用地域	91	3.5	2.4
	第 1 種中高層住居専用地域	493	19.1	
	第 2 種中高層住居専用地域	521	20.1	
	第 1 種住居地域	230	8.9	
	第 2 種住居地域	206	8.0	
	準住居地域	72	2.8	
	近隣商業地域	182	7.0	0.4
	商業地域	80.1	3.1	
	準工業地域	203	7.9	1.0
	工業地域	53	2.1	
	工業専用地域	453	17.5	
	合 計		2,584.1	100.0
都市計画区域		18,662		27.4
行政面積		68,136		100.0

(資料：建設部建設政策課)

(2) 土地利用状況

平成 29 年 4 月 1 日現在

地 目	面積 (ha)	割合 (%)	地 目	面積 (ha)	割合 (%)
田	6,937	10.2	山林	16,168	23.7
畑	1,326	1.9	原野	155	0.2
宅地	2,710	4.0	雑種地	651	1.0
池沼	103	0.2	その他	40,086	58.8
			合 計	68,136	100.0

(資料：財務部資産税課)

5. 水道

(1) 平成 28 年度総括表

行政区域内総人口	129,358 人
計画給水人口	101,588 人
現在給水人口	64,088 人
普及率	49.5 %

(2) 上水道

事業主体	八代市	八代生活環境事務組合	計
計画給水人口	61,600 人	28,060 人	89,660 人
給水区域内現在人口	70,003 人	24,455 人	94,458 人
現在給水人口	40,989 人	18,014 人	59,003 人

(3) 簡易水道

	公営
箇所数	34 箇所
計画給水人口	10,148 人
現在給水人口	4,386 人

(4) 専用水道（自己水源のみによる専用水道）

箇所数	21 箇所
確認時給水人口	1,780 人
現在給水人口	699 人

(資料：水道局)

6. 下水道

(1) 八代市公共下水道

		基本計画（全体）		都市計画決定	事業認可計画		
処理区		八代	八代東部	八代	八代	八代東部	
計画目標年次		平成 44 年度		—	平成 29 年度		
排除方法		分流式		(同左)	(同左)		
処理区域面積 (ha)		2,450	49	1,910	1424.6	49	
処理人口 (人)		58,500	1,700	—	52,600	2,000	
(八代市水処理センター) 終末処理場	処理方式		標準活性汚泥法	(同左)	(同左)		
	敷地面積 (m ²)		63,100	約 90,000	約 90,000		
	処理能力 (m ³ /日)		37,800	—	34,600		
	放流水質	BOD (mg/ℓ)	15 (除去率 92.5%)		—	15 (除去率 92.1%)	
		SS (mg/ℓ)	30 (除去率 82.3%)		—	30 (除去率 82.3%)	
	脱水汚泥量 (m ³ /日)		16.1		—	12.1	

(資料：建設部下水道建設課)

(2) 八代北部流域下水道

		基本計画 (流域全体)	都市計画決定 (鏡処理区)	事業認可計画	
				千丁処理区	鏡処理区
計画目標年次		平成 36 年度	—	平成 33 年度	平成 33 年度
排除方法		分流式	—	分流式	分流式
処理区域面積 (ha)		1,157	412	209	346
処理人口 (人)		38,700	—	5,860	9,440
(八代北部浄化センター) 終末処理場	処理方式		標準活性汚泥法	—	—
	敷地面積 (m ²)		約 41,800	—	—
	処理能力 (m ³ /日)		20,100	—	—
対象市町		八代市 (旧千丁町・旧鏡町)、八代郡氷川町 (旧竜北町)、 宇城市 (旧小川町)			

(資料：建設部下水道建設課)

(3) 東陽、泉農業集落排水処理施設

		東陽農業集落排水処理施設	泉農業集落排水処理施設
排除方法		分流式	分流式
処理区域面積 (ha)		48	24
処理人口 (人)		2,300	820
処理方式		回分式活性汚泥方式	嫌気性ろ床併用接触ばっ気方式
処理能力 (m ³ /日)		690	246
放流水質	BOD (mg/ℓ)	20	20
	SS (mg/ℓ)	50	50

(資料：建設部下水道総務課)

(4) 公共下水道処理区域及び水洗化進捗状況

		H25.3月	H26.3月	H27.3月	H28.3月	H29.3月
行政区域	面積 (ha)	68,060	68,060	68,060	68,060	68,136
	世帯 (戸)	53,483	53,941	54,309	54,874	55,417
	人口 (人)	132,775	131,797	130,911	130,023	129,358
認可区域	面積 (ha)	1,945	1,945	2,028	2,028	2,028
	世帯 (戸)	29,464	29,682	31,231	31,217	31,321
	人口 (人)	70,757	70,513	74,549	73,257	72,170
処理区域	面積 (ha)	1,506	1,546	1,573	1,605	1,629
	世帯 (戸)	24,335	24,995	25,501	25,701	26,354
	人口 (人)	57,579	58,449	59,714	59,519	59,926
水洗化戸数 (戸)		17,484	18,137	18,521	19,050	21,674
水洗化人口 (人)		43,946	45,177	45,730	46,630	47,222
下水道普及率 (%)		43.4	44.3	45.6	45.8	46.3

(資料：建設部下水道建設課)